



# 宇佐市

生活環境課

## 太陽光発電施設の導入

宇佐市では、県内一の穀倉地帯といわれるように平野が多く、さらに温暖な瀬戸内式気候に属し、降水量も少ないことから、太陽光発電の適地とされています。そのため、早くから太陽光発電の導入に積極的に取り組んでいます。

中でも、2011年度に市役所の車庫の屋根に設置した太陽光発電施設で発電した電力を、公用電気自動車の燃料に利用することで、「エネルギーの産地消」を実践しています。また、将来を担う子供たちにクリーンエネルギーに興味を持ってもらうとともに、自然の大切さや地球温暖化問題について考えてもらうため、小中学校や公共施設において太陽光発電設備の導入を進めています。

## 貴重動植物生息域調査

宇佐市では、希少な動植物の保護などのため、市内に生息している動植物の生息域調査を「宇佐自然と親しむ会」の協力により調査を行っています。調査から、地球温暖化の影響による県南の動植物の生息域が北上しているかどうか把握できます。

## 電気式生ごみ処理機、自家製堆肥製造器の購入補助

宇佐市では、家庭から排出される生ごみの減量化を推進するため、生ごみを自家処理するための電気式生ごみ処理機と生ごみを堆肥としての資源化を図る自家製堆肥製造器の購入を補助する事業を行っています。

## 使用済みの食用油を活用した取り組み

宇佐市では、家庭やお店で使用した食用油を活用したバイオディーゼル燃料（BDF）の実用化に成功しています。なお、このバイオディーゼル燃料は、スクールバスや公用車の燃料に使用することにより、地球温暖化防止に向けた取り組みのPRにも一役買っています。



回収した使用済み食用油

一般のご家庭からごみとして出されるはずの食用油を市役所が回収し、市内の社会福祉法人がバイオディーゼル燃料に精製することにより、市民・行政・事業所が一体となってごみの減量化や二酸化炭素の排出削減に取り組んでいます。



精製したBDFをスクールバスに使用

使用済み食用油の回収実績（単位：ℓ）

年度	給食センター	一般家庭	事業所	合計
H25	5,555	2,680	25,005	33,240
H26	5,000	31,30	21,314	29,444
H27	4,050	2,780	32,421	39,251

## 「宇佐市環境リサイクルフェア」の開催

宇佐市では、2016年11月に宇佐市勤労者総合福祉センター「さんさん館」で「第1回宇佐市環境リサイクルフェア」を開催しました。リサイクルフェア・小型家電の回収、リユースフリーマーケット等を企画し、会場は大勢のお客さんでにぎわいました。家庭で使われなくなった衣料を、飢餓や紛争などで苦しんでいる世界の人々へ送り届けるリサイクルフェアの推進に取り組んでおり、今回で19年目を迎えるこの取り組みは、市や自治会・女性団体をはじめ、多くの団体や市民の皆様の温かいご協力のもと続けられています。

リサイクルフェア回収において市内から約6トンの衣料と、衣料を海外へ送る輸送費として4,812円の募金を頂きました。神戸のNPO法人日本救援衣料センターへトラックで運ばれた衣料は、その後、様々な困難に苦しんでいる世界各地の人々へ送り届けられました。



「捨てればごみ、使えば資源」この事業を通して、ごみの減量と二酸化炭素排出量の削減による地球温暖化防止、また、貧困などで苦しむ世界の人々へ市民の善意を送り届ける助け合いの精神を育てています。



宇佐市環境リサイクルフェアの様子



# 豊後大野市

環境衛生課

## 市報で地球温暖化防止の取り組み紹介

毎月発行する『市報ぶんごおおの』に“地球温暖化防止につとめましょう～家庭で出来る取り組み～”と題して、家庭で対応できるCO<sub>2</sub>削減の活動等を紹介し、市民の意識啓発を図っています。

## 緑のカーテン

市役所や学校施設などで、ツル性植物を育てて緑のカーテンを作っています。



## 豊後大野市地球温暖化対策実行計画を策定

第二次豊後大野市地球温暖化対策実行計画を策定し、豊後大野市役所の仕事をする中から排出される温室効果ガスの削減を進めています。

## 生ごみコンポスターの購入補助

家庭から排出されるごみの減量化を推進するため、生ごみを肥料にする『コンポスター』の購入を補助する事業を行っています。



## みえっ粉せっけんでクリーンな環境

市民ボランティア団体の皆さんによる、家庭から排出される廃食油を再利用したリサイクルせっけん「みえっ粉せっけん」を応援しています。

